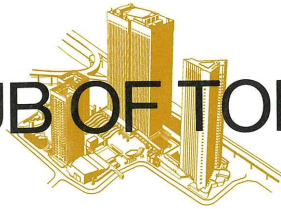




THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: MANKIND IS OUR BUSINESS

「ロータリー：人類が私たちの仕事」

2001～2002年度・国際ロータリーテーマ／リチャード D. キング会長

「ロータリーの心を伝えよう―家庭に、職場に、地域に―」

2001～2002年度・東京新南ロータリークラブテーマ／大日方 真会長

本日の例会 8月3日 第711回例会

クラブセミナー 「会員増強」

先週報告 7月27日 第710回例会

◎ 会長報告

「ガバナー月信」は今月から配布はなくなり、第2750地区のホームページ

<http://www.ri2750.org>

にアクセスして頂くことになりました。

ガバナーより、今月号には大切なことが述べられているので、内容を例会で知らせて欲しいということで、改めて報告。

- 1) 各クラブは、活性化のために新しい試みを何か一つ行って欲しい。

新しいことを行うことにより、組織は必ず活性化する。

- 2) 会員増強が大切。

世の中が停滞気味のときに人が増えると皆元気になる。会員が増えてお互いが交流すると必ずいいことがある。今までのように職業分類にこだわることはない。会員の資格は、地位とか収入よりも、その人の心の質が大切。一人でも多くの人をお迎えして欲しい。

◎ 親睦委員会 (清原委員長)

6月7日の「火曜会」に多数の出席をお願いします。参加してみよう「火曜会」、何でも話そう「火曜会」ということで、新人からベテランまでたくさん参加して頂き、自由闊達な発言を期待しています。

◎ 慶事披露

100%出席祝い／大日方真君(14年)、武下朗君(12年)、新保國彦君(8年)、福島賢哉君(4年)

◎ 出席報告

会員69名・出席47名・欠席22名(出席規定免除者6名) ビジター6名、ゲスト3名(米山奨学生の党偉栄さんを含む)

次週予告 8月10日 第712回例会

ブッフエスタイルのため卓話はありません。

[例会場／シリウス (36 F)]

イニシエーションスピーチ

「1986年の思い出」

全日空エンタプライズ株式会社 顧問
当クラブ会員 市川 徹君

人類が
私たちの仕事



前回の細川夫人のすばらしいスピーチ。まさにファーストレディーによるファーストクラスのスピーチでした。ところが今回は、エコノミークラスの登場でそのギャップに本人が一番複雑な思いをしていますが、背伸びせず気取らず、話をさせていただきます。

ご紹介のありました通り、私の趣味はグライダーとか飛行機であります。皆様からは危険とか怖いと言われますが三次元の運動はとても楽しいものです。一番エキサイティングな飛行は失速でありまして、特に星空に向けて急上昇すると天に昇る気持ちです。一方地に落ちる気持ちは難様みです。この両方を同時に体験できるのが宙返りで、重力の影響で歯をくいしばらないと自然と口が開き、目尻も下がります。

さて、今日のタイトルは「1986年の思い出」としました。これは1986年は当クラブにとり創立年という最も意義ある年であり、一方私にとりまして1986年は忘れられない年であるからです。この年はフィリピン駐在最後の年で「ピープルスパワー」と呼ばれた民衆の蜂起で、23年続いたマルコス政権が崩壊しアキノ政権が誕生しました。当然のことながら、この時期社会は大混乱、経済はガタガタとなりました。金利も50%を超え外貨保有高もみるみる減り、このままだと国が破産・破滅する事態となると予測しました。当時私共の試算によると残すところ2～3ヶ月しか残ってないところまで落ちていました。ところが不思議なことに、このレベルから減少せず、社会・経済もなんとなく破綻することなく廻り続けるのです。JETROの方がこの現象を「裏経済が表経済を支えている」と論評されました。確かにフィリピンには大掛かりなものと「ファシリテーション・フィー」に代表される日々恒常的に支出されるかわいいものがあります。本格的には選挙の時に動くようです。私の赴任時以前は総選挙があると1000人以上の人が殺され、赴任中でも700人程が死んでいます。命をかけるぐらいですから相当大きな金額が動くのではないかと思います。

アジア開発銀行初代総裁の渡辺さんが書かれた「アジア総裁日記」を読みました。そこに「フィリピンの蜜蜂は蜜を貯めない。なぜならばフィリピンでは年中花が咲いておりその必要がないからです」とありました。そこで私が思うのは、「私達は蜜を貯める蜜蜂です。それがたまたま社命でフィリピンに飛び、蜜を貯めない蜜蜂を見て、君達いいよ、とは言えない」ということです。本当に文化の違いを理解することは難しいことです。

元米山奨学生李承福さんの近況

6月8日(金)に、私が修士号を取得した東大生産研究所を訪問した際に、同研究所で博士号取得を目指して研究に励んでいる韓国からの前米山奨学生、李承福(イスンボク)さんを訪ね、研究状況を聞いてきました。

李さんが過去2年程研究を続けてきたテーマでは博士号取得が困難ということになり、研究テーマを変え、新たな気持ちで研究に打ち込んでいました。李さんの所属する研究室では、博士号を取得するまでには5編の論文と学会発表が要求されるのですが、もう既に1編は済みました。2編目の論文の締切りが一週間後とのことで、当日の夜から週末に掛けて実験に追いこみをかけるとのことでした。今のところ3ヶ月に1篇のペースで論文が書けていますので、そのペースが維持できれば来年中には待望の博士号取得も夢ではありません。

ご家族の方は、奥さんと二人のお子さん、皆さんお元気とのことです。住居も、高輪台の都営住宅の抽選に当たり、助かっていますとのことでした。新南RCの皆様にくれぐれも宜しくお伝え下さいとのことでした。

(元カウンセラー圓谷 記)

8月行事予定

8月は会員増強及び拡大月間です

1日(水) 地区第2回米山奨学委員長会議

京王プラザホテル 43F スターライト 16:00~19:30

3日(金) 8月定例理事会

東京全日空ホテル 36F アストラル 例会後13:40~15:00

7日(火) 火曜会

東京全日空ホテル36F アストラル 18:00~19:30

8日(水) インターアクト年次大会

きゅりあん 9:00~16:00

17日(金) 休会(夏休み)

31日(金) ガバナー補佐公式訪問・第2回クラブ協議会

東京全日空ホテル 36F マーキュリー 例会前 11:00~12:00



7月27日/15件37,000円
2001~2002年度累計172,000円
多額の御寄付を有難うございました。

市川徹/本日は話をいたします。人前で話すのは不得手でお聴き苦しい点も多いと思いますがお許しください。又、ホテル改修に伴いご不便をおかけし申し訳ありません。開発英基/市川さん、イニシエーションスピーチ応援しています。高須康有/市川さん、イニシエーションスピーチご苦労様です。楽しみにしております。岸義武/昨日、入会祝いのきれいなバラが届きました。ありがとうございます。大日方真/健康にめぐまれて14回目の100%出席できました。新保國彦/皆出席、8年目となりました。関征春/ご無沙汰しています。石井さん、写真ありがとうございます。岩瀬秀郎/暑い日が続きます。そろそろ夏休みをとります。荒木昭文/暑中御見舞い申し上げます。土屋東一/西澤さん、ご苦労さまです。加藤昌明/馬場先生に敬意を表して。清原元輔/馬場先生、コンニチワ。小湊雅亮/馬場先生、ご苦労様です。雲間の太陽は猛烈です。武下朗/馬場さん、おあつうございます。馬場一廣/ほんとうにお暑うございます。皆さん、夏まけされませんように。

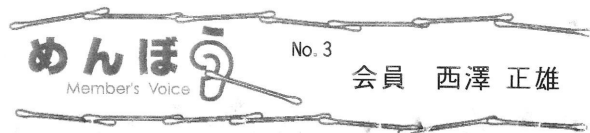
東京新南ロータリークラブ

〔会長〕大日方真 〔副会長〕谷村義雄 〔幹事〕新保國彦

〔会報委員長〕小杉真史 〔今週の担当〕本嶋公民

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階
例会日・例会場/毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル

TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp
〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111



「最近思うこと」～寝苦しい夏の夜に～

今年の夏は、めっちゃ暑い。おかげでビールの味は超最高! 古くには“よくぞ男に生まれける”などと言われたのはとっくに死語に。ワイシャツにネクタイ、そして上着を手汗だくの紳士方の姿に対し、昨今は薄いカラフルな軽い服装で、サンダルやツツカケで颯爽とくつ音高く闊歩する淑女方の天下となっている。このような猛暑続きではエアコンや夏物衣料(婦人物が主)はもとより、ビール清涼飲料の売れ行きが好調で、気温が1度あがると実質経済成長率が0.7%押し上げられるといわれている。日銀の景気観測によると「調整が深まっている」なんて文学的表現で報道されているが、景気の60%を占める個人消費を支えているのは猛暑と女性が主役ということになりそうである。

最近銀座の松屋がリニューアルオープンしたが、1Fは化粧品とアクセサリ、2Fはヤングレディフロア、3Fはキャリア、4Fはミセス・インポートとなって全館の半分以上は女性向。5Fまで行かないとネクタイも洋服も紳士物には辿り着かない。お隣の三越も同様である。不景気といわれる中でも銀座に出店した「メゾンド・エルメス」には開店前に徹夜組も出る人気で、数十万円のバッグが飛ぶように売れたとか。ホテルやレストランでもメニューはレディスお目当てになっているのが見え見えである。マンションの売れ行きも順調といわれているが、住宅購入の主導権も女性ということで、キッチンとかおしゃれな内装に力点がこめられているとか。世の中は、景気を支える女性にターゲットが向けられている。これからは社会の広い領域で多くの女性が活躍する時代に入ってきている。

女子の大学進学率は、平成元年に男子を上回り年々上昇しているという。ということは現在30才までのどの年令をとっても女性のほうが高学歴ということになり、あと10年経てば40才までは女性が高学歴という計算である。誠に結構なことで、決して学歴を云々するものではないが、丁度日本の構造改革の帰趨が見えてくる頃には、職場でも、生活面でも、文化的、国際的な役割でも社会の中堅どころは女性が中心的な活躍を果たしていく時代がくるのではないかと思われる。小泉内閣では5人の女性大臣であるが、思いのほか早いスピードで大臣も女性が半数を占めるような日が来てもおかしくないかも。

こうした社会の変化、進展は、ロータリークラブの運営や活動にも思いがけないスピードで変革を求められてくるのではなからうか。今や大日方会長が言われる「ロータリーの心を家庭に、職場に、地域に」はどんどん変化する社会に遅れをとることなく進める時期がきているのかもしれない。しかし楽しい明るいロータリーは、いつの時代も変わらないし、そう願って止まない。